

はしご車(40m級)

《水路管付き》



福山地区消防組合消防局

2014年（平成26年）9月18日（木）に南消防署のはしご車（40m級）を更新しました。

はしご車（40m級）の概要

全長	10m75cm				
全幅	2m49cm				
全高	3m52cm				
シャシ	日野プロフィア（梯子車専用シャシ）				
ミッション	オートマチックトランスミッション				
操舵方式	4輪操舵方式				
	<table border="1"><tr><td>通常走行時最小回転半径</td><td>8.0m</td></tr><tr><td>4輪操舵時最小回転半径</td><td>7.2m</td></tr></table>	通常走行時最小回転半径	8.0m	4輪操舵時最小回転半径	7.2m
通常走行時最小回転半径	8.0m				
4輪操舵時最小回転半径	7.2m				
乗車定員	6人				
総排気量	8,860cc				
車両総重量	20,460kg				
起伏角度	-10度～75度				
バスケット荷重	270kg				
リフタ荷重	180kg				
最大放水量	毎分2,000リットル				
主要装置	水路管、リフタ・バスケット同時使用				

はしご車専用シャシとは

今までのトラックベースとは違い、FRP ボデーや4輪操舵方式を採用し、軽量・低重心で小回りの効く、機動性の高いはしご車専用シャシを使用しています。



水路管とは

消防用ホースの代わりにはしご下部に伸縮式の水路管を装備したことにより、毎分2,000リットルの高圧放水が可能です。また、放水しながら旋回、伸縮などのはしご操作ができるため、スピーディーな消火活動ができます。



バスケットとは

はしご先端に固定したバスケットに乗り込んで、安全に要救助者の救助活動ができます。従来の正面開放式から側面開放式にバージョンアップし、乗降性が向上しました。



荷重は270kg（3人）

リフタとは

要救助者が多数の場合、はしごを建物に架梯した状態で要救助者を連続救助するエレベーターの役割をします。

荷重は180kg（2人）



リフタ ・ バスケット同時使用とは

今までは、リフタの使用時には、バスケットを取り外す必要がありましたが、同時使用が可能になったため、バスケットに乗り込んで建物に架梯し、リフタによる連続救助ができます。



積載品

	品名	数量	規格等
1	とび口	2	長さ 1800mm 程度 分割収納型
2	金てこ	1	長さ 800mm 程度
3	剣先スコップ	1	
4	発動発電機	1	ホンダ EU16i
5	投光器	2	M500
6	コード	2	防雨型コードリール
7	三脚	2	K1
8	帯電棒	2	7000V 以上に使用ができるもの
9	帯電手袋	2	〃
10	帯電長靴	2	〃
11	帯電衣	2	〃
12	帯電ズボン	2	〃
13	安全帯	5	巻取式
14	空気呼吸器	5	川崎ライフゼム M30
15	特殊ノズル	2	クアドラフォグノズル NH-40QF
16	消防用ホース	6	径 40 使用圧力 2.0Mp 20m (マチノ式) ダブルジャケット
17	バスケット担架	1	ファーノ M71S
18	かぎ付き梯子	1	チタン製 全長 3.1m KHFL-T0T-31
19	活線接近警報器	4	長谷川電気工業製 HX-6 型
20	大ハンマー	1	10 ポイントハンマー
21	鋸	1	片刃型
22	万能斧	2	弁慶 500
23	活線ボルトクリッパー	1	ZBC-0260
24	車高棒	1	絶縁性のもの
25	緩降機	1	消防化学研究所 スローダン 40m
26	ロープレスキュー資機材	1	
27	ホースバッグ	2	BE-010